



明治大学校友会
柏地域支部

ホームページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/meiji-u.kouyuukai.kasiwa/>



明 柏 はくめい

写真提供: 石川製茶 <http://www.netchaya.com/>

第5号

発行日 平成22年1月1日
発行 明治大学校友会
千葉県西部支部柏地域支部
発行人 宇都宮幸正
住所 〒277-0066
千葉県柏市中新宿1-2-21
電話 04-7173-7301

P1: 明治大学マンドリン倶楽部チャリティー演奏会を開催して(宇都宮幸正)
P2: 全国校友富山大会に参加して(山田研一)、私が子供だった頃(加茂治男)

P3: 我が国農業の原点考察(柳内隆平)
P4: 委員会からのお知らせ、イベントのお知らせほか



平成二十一年十月四日(日)午後二時から柏市民文化会館大ホールにて開催された柏・我孫子支部共催による演奏会は校友の皆様のご協力で無事終了することが出来ました。校友の皆様のご協力に心から御礼申し上げます。そこで皆様へ開催の経緯と結果をご報告申し上げます。平成二十年十月一日文化会館使用希望者による抽選会が行われました。これに校友会から駒田実行委員長が参加し、見事希望日を引当て、平成二十一年十月四日の演奏会が確定しました。早速、柏・我孫子両支部責任者により基本方針を定め、以降十二回におよぶ実行委員会を開催し、半ばより流山支部の皆様にもご協力を頂き、開催前日には会場準備を完了することができました。



昭和29年政経卒
宇都宮幸正

明治大学マンドリン倶楽部 チャリティー演奏会を開催して

一方、入場券の販売は校友各位にご協力を頂き、近隣在住の明大OBの皆様にも案内状を送っただけでなく、幹事長を中心に各幹事の自宅前、集会所や町会の掲示板、お店や個人宅にもポスターを貼らせてもらい、さらに各種新聞のお知らせ欄、個人のブログやネット上のイベント案内にも掲載してもらったほか、柏駅前広場でのビラ配り等、さまざまな努力の結果、なんとか目標枚数を達成することができました。なお、今回の案内状により新たに十二人のOBに入会頂けるという思いがけない効果もありました。

開催当日は好天に恵まれ、開場二時間前から入場者の行列が出来るほどの盛況となり、千六百人収容の柏文化会館はほぼ満席になりました。



第一部は明治大学校歌で始まり、古典音楽でまとめ、第二部はりんどう峠など心に残る日本の詩を集め、第二部は愛の讃歌など世界の名曲のほか、客

席全員がマンドリンの演奏に合わせて歌つという場面もあったほか、予定曲終了後に何度モアンコール演奏が続ぎ会場は熱気に溢れました。選曲・演奏・司会進行のいずれも洗練されていたうえ、会場の音響効果もよく、指揮者荒川君と一体となった一生懸命な演奏に、会場全体が魅せられた、素晴らしい演奏会になりました。

ただ、今回運営面で多くの反省点・改善点も確認されました。これらは今後の参考にしたいと思えます。

終わりに来場者の皆様、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。ご報告といたします。なお、当日の入場者によるアンケートのまとめを別ページに記載しましたので御参照下さい。

柏地域支部長



全国校友富山大会に参加して



昭和52年法卒
山田研一

二〇〇九年九月二十七日(日)、明治大学全国校友富山大会に、宇都宮支部長と参加しました。富山市内の富山県民会館大ホールに全国から参加者数一三〇〇余名が集い、年に一度のお祭りのごとく、握手、抱擁、手振りの挨拶懐かしみ語り合つ姿に同じ校門をくぐつたということだけで、こんなに親しくなるものかと不思議な気持ちになりました。

大会校旗の入場に始まり、国歌斉唱お決まりの校歌斉唱と続き、一番と二番を歌いましたが、二番は自然消滅やはり、一番から二番まで歌わないと、やはり、つまらない。パソコンの時代、校歌の歌詞くらいスクリーンに照らして、皆が歌えるようにすればいいのにと今回も思いつつ、物故者への黙禱の後、着席。

開会宣言、実行委員長挨拶のあと、来賓紹介、大学職員紹介、校友会役員紹介と続き、新しく校友会長に就任した向殿氏が大会会長として挨拶、『明治はひとつ、全員参加の校友会に』との熱い思いを語り、大いに盛り上がりました。
感謝状は、ミスター明治こと、青木前校友会会長に贈られました。本当に

感謝、感謝、ご苦労様でした。万歳三唱のあと、閉会挨拶。

三〇分の休憩後、記念落語、立教大学卒業者の前座の高座後、立川志の輔師匠の落語、真打の話術とは凄いですね。たった一人で、一三〇〇名の校友を釘付け、演目は、『子供のテスト』、枕では、交通事故に遭わないことは眼で微分を普段行っていること、選挙の開票率五%で当選確立が出るわけを味噌汁の味見たたとえて語り、また、富山市内に小学生が少ないことに掛けて待ち合わせに遅れた訳を『珍しく小学生を見かけた・・・』笑わせ振って始まりました。内容を掻い摘んで話しますと、子供の答えが珍妙で、書き真五点のテストの結果にその親父が呼ばれ、先生とテストの点数の上乗せをかけたつもので、落ちたは『あなた父親の親の顔が見たい』で終わる話でした。師匠の語りで印象に残った言葉は、在学中は感じなかったが、卒業してから、明治大学の有難さを知ったとのこと。地域支部に係わって、同じような気持ちになつていきます。

その後、懇親会の会場である「AN Aクラウンプラザホテル富山」へ、幸い天候に恵まれ支部長と徒歩にて移動、会場では、富山県内物産の斡旋や明治大学グッズの販売など、趣向を凝らしたもてなしを受け、懇親会開催まで繋いでいました。しかし、なかなか始まらず、校友の中には、はじめは遠慮がちに、ちびちびビールを飲んでいた輩が、立食形式の料理が回らないテ

ーブルでの宴会のため前に出てくる料理までつぎ始めて、宴会が始まる前にだいたい過ぎちゃったところもあり、ちよつとマツイかななんて思いました。何しろ、平均年齢は、五〇歳を越えている方々ですから、世間並みの品格をお持ちと思えますけれど、マ、それも余興と思えば、悪くないのですが、テーブルの配置は地域別に指定されていたので、判っちゃつんですがね・・・

懇親会開会后、『おわら風の盆』の舞が静かに始まり、伝統の重みを感じました。その後、チンドン屋さんの登場富山市は、『全国チンドンコンクール』を昭和三〇年から開催しているところだ静かな『おわら風の盆』のあとに『ぎやかなチンドンヤさん』と余興はなかなかのものでした。「富」が「山」ほどある地で『富山』とは良くつけたものだと改めて実感しました。



その後、次回開催県の山形県支部からの挨拶、定番の応援団のアトラクションと続き、二時間はあつという間に過ぎ、よかった、よかった、で無事

に終わりました。次回は、山形県、柏支部の校友のあなたが参加されることを願っています。

昭和五十二年法卒部卒 山田研一

私の子供だったころ(一)



昭和37年商卒
加茂台男

昨年の三月頃、アミューゼ柏で、昔の街ものがたり」といふ集まりが開催された。柏市の生涯教育の一つで、昔の写真などを持ち寄り展示し、交流を図ることが目的である。私も子供の頃の一枚の写真と絵を出品した。

平和なひととき
この写真は、私が三歳ころで、東京本所緑町四丁目裏通りで木のスケーターで遊んでいる。後ろにはタドンが乾してある。

多分、昭和十六年ころだと思う、日溜りが眩しい平和なひとときである。
当時、父親が呉服屋を営み、また太平洋戦争の始まる前かもしれませんが微かな記憶では、近所の同じくらしい子供たちとのんびりと楽しく遊んでいた思い出が残る。戦争が始まり、翌昭和十七年四月には、東京地方に初めて米国の空襲があり、五十人ほどの死者を出した(戦後になって明らかになった)。これを父親は何かで知り、その年の秋には、店を残して(父、兄姉は東京に残る)家族を福井県・武生



市に疎開させた。

昭和二十年三月十日の東京大空襲により、焼け出されたが、父親は関東大震災にも遭っており(幼い兄妹をなくす)、その経験からか、一人ずつ布団を一枚持って近くの川(堅川、三の橋付近)に逃げ、三人とも命だけは助かった。川から上がってみると、あまりにも悲惨な街の姿が今でも目につかぶが、とても人に話せる気持ちにはなれないと今でも兄が言つ。隣の遊んだ子供も家族も一緒に防空壕で亡くなったとか。日本は今、永く平和な時代が続き、戦争を知らない世代が人口の大半を占める。私たちはこの戦争の悲惨さを語る義務がある。

「アミノ」セ柏での交流会で、「」の会は

ただの懐古趣味の集まりではなく、その時代に経験したことを、今に生かすことにつなげることに意味がある。記憶と記録が私たちの教訓になる。」と話しかけた。

昭和三十七年商卒 加茂治男

我が国農業の原点考察(一)



昭和35年法卒 柳内隆平

表題にやゝ難しい文言を設定しましたが、これは明大校友会柏支部の先輩で、明大マンドリン倶楽部のOBでもある森田さんと家庭菜園、農園、更

は日本の農業問題に関して親しく話し合った折、その経験と見識を踏まえて「はくめい」にシリーズにて寄稿しては如何ですか、との要請をうけてのことです。

その森田さんが、昨年急遽他界され、残された言葉が未だに忘れることができません。即ち「柳内さん、僕は約一反歩(三〇〇坪)の借地で農園を運営しているが、あなたは二〇名強の会員を募り、四反歩(一二〇〇坪)の農園を運営、耕運機を導入、水槽も二基設置、トイレもある本格的な農園を運営しています。その体験談と日本の農業問題を是非とも『はくめい』にシリーズ物で寄稿して下さい。」といわれた言葉が忘れられず、その気になっていました。森田さんの急逝に対しては、改めて哀悼の意を表し、永久(とわ)なる冥福を祈っています。

そもそも、私が日本の農業問題を云々(うんぬん)するには、それ以前に少年時代からの自伝を抜きに話すことはできません。私は福島県いわき市で昭和九年(一九三四)に当時としては比較的規模の大きな農家の次男坊として出生しました。

農家である実家の農作業は、当時は機械化されておらず、過度の労働力の不足から親父の強権で重労働でも手伝わされました。所謂(いわゆる)現代版の児童憲章違反に近い厳しい過酷なまでの労働を強いられたわけです。しかし振り返ってみれば、これが農作業の実習体験となり、更に忍耐力の涵養

にもなり、私の長い人生を通じて役立っています。今でも貴重な農業体験として故人親父に有難く感謝しています。少年時代に使用習得した農作業の基本的用具である鋤、鎌、万能、スコップ等を持たせたなら、手前味噌ながら免許皆伝の域で、本職の農家の方にも負けぬ程度のスキルを持っていると自負しています。

現在、私の農園仲間(会員)に農作業全般に亘って技術指導をしています。特に初心者クラスの方々には基本的な農機具(特に鋤)を使用しての種時時と苗類の定植時の畝立(うねだて)、追肥土寄せ(ついひつちよせ)作業を重点的に指導していますが、なかなか習得の困難な(こ)にもいます。このような方々には根気強く反復指導を心掛けています。

話は逸れますが、昨年暮には政党内閣の前千葉県議会議長が土産持参で拙宅へお越しになり、最近県内での農園運営案件が多いので、是非指導を仰ぎたいとの要請を受けました。話半分と理解しても、時間があれば応諾する旨伝えました。私にとっては大変名誉なこと、結構な話ではないかと素直に受け止めています。

昭和二十年(一九四五)の日本の敗戦前後からの日本の農業政策に関連して、身近な郷里での話題を中心に記憶を辿って話を進めたいと思っています。年代的には、昭和十九年(一九四四)頃で、私は小学四年生でした。

昭和三十五年法卒 柳内隆平

定期ゴルフ大会報告

第三回柏・流山地域支部ゴルフ大会は平成二十一年十月二十七日(火)に千葉カントリー倶楽部川間コースにて開催されました。参加人数は二十一名(柏十名、流山十一名)

千葉県西部支部長猪瀬主税さん、流山からは紅一点の永井千尋さんが参加され、前日まで雨でしたが、当日は雲ひとつない天候に恵まれ、一日和気藹々とプレーを楽しみました。

優勝者は柏の永井康雄さん、第二位は柏の宇都宮幸正さん、第三位は流山の光崎親一さんとなり、女性の参加もあり表彰式も盛り上がりしました。

次回は五月に紫カントリー倶楽部・あやめコースにて開催の予定です。是非とも多数の参加をお待ちしています。

演奏会アンケートのまとめ

平成二十一年十月四日(日)午後一時から柏文化会館大ホールで行われた明治大学マンドリン倶楽部チャリティ演奏会のアンケートは入場者の一割にあたる二七四件の回答が寄せられました。

コンサートを知ったのは校友会の紹介が五割弱で最も多く、次いで知人の紹介が二割、ポスター・チラシが一割強、広報紙・新聞が一割弱でした。

以前聴いたことがある人が全体の三分の二を占め、回答者のほぼ全員(九八%)が次回も聴きたいと答えました。性別は女性が六割強と多く、年齢は

六十歳台が四割強で最も多く、六〇歳以上の方が全体の八割を占めました。職業は主婦が約半数を占め、住まいは柏四割、我孫子三割、流山一割、その他一割でした。

演奏会の感想は、素晴らしい・楽しい演奏会・うっとりした・感動した・満足した等、好意的な内容が多く、ほとんどの人が楽しい時間を過ごせたようです。その他、選曲・司会・演奏態度も好評で、演奏について批判的な意見はほとんどみられませんでした。

一方、会場整理については、年配の方が多く、長蛇の列となったため、危険・辛い・何とかしてほしい等の意見が多く、今後課題を残しました。

アンケート調査の要望に答えて、演奏会は今後も継続する予定です。今回は今回の経験を生かして、より楽しい演奏会にしたいと考えています。

なお、皆様のご支援のおかげで、柏地域支部は演奏会による収益を柏市社会福祉協議会に寄付することができました。左はその礼状です。



委員会からのお知らせ

事業部の活動予定
一、名所・旧跡を尋ねて

柏市花の井 吉田御殿の見学
松戸市 戸定が丘公園の見学

- 一、二ツカウイスキー工場の見学会
- 一、手賀沼周辺の散策
- 一、一駅間散歩
- 一、各種明大運動部の応援参加

新会員の紹介

昨年、新しく明治大学校友会柏地域支部に入会された方を紹介いたします。

- 菊池鉄男さん(昭和二十八年・商卒)
- 白石善美さん(昭和二十一年・経営卒)
- 山田浩三さん(昭和二十六年・政経卒)
- 斎藤武志さん(昭和二十九年・法卒)
- 植松敏有さん(昭和四十年・商卒)
- 高橋宗博さん(昭和四十年・政経卒)
- 富田幸男さん(昭和四十三年・商卒)
- 佐藤史郎さん(昭和四十四年・政経卒)
- 竹之内明さん(昭和四十四年・商卒)
- 根本 満さん(昭和四十六年・商卒)
- 吉川末満さん(昭和五十一年・商卒)
- 石原敏和さん(平成二年・経営卒)

以上十一名です。新しい仲間を迎える会の目的である「会員相互の親睦と交流」を深めてまいりたいと思います。

国技館5000人の第九コンサート

本会会員で第九歌唱の常連である勝俣さんが参加します。

二月二十八日(日)、午後二時開演
於 墨田区国技館
■ 寶井講談修繕場整

本会会員の佐々木琴山こと佐々木利夫さんが講演されます。六月五日(土)於 お江戸日本橋亭
(地下鉄銀座線三越前駅徒歩2分)

ホームページ

柏地域支部では、ホームページに詳細な情報をより早く掲載しています。アドレスは表題の下に示しましたが、「明治大学 校友会 柏」でも検索できます。Eメールや掲示板を利用した連絡もできるので是非ご利用ください。

イベントのお知らせ

新春の集い

一月二十四日(日)午後一時
於 麗宮飯店(柏駅西口)
ゴルフ大会

五月開催予定(年2回開催の予定)
千葉県西部支部総会
五月九日(日)

於 浦安フライトンホテル
第八回柏地域支部総会
六月十二日(日)

於 三井ガーデンホテル柏
全国校友山形大会
九月五日(日)

於 山形県民会館大ホール
ホームカミングデー
十月に本校で開催 今年は昭和二十五年、四十五年、五十五年、平成二年、平成十二年卒の方が招待の対象です。

編集後記

正月号なので、タイトル背景に富士山の画像を採用しました。柏市内からの写真が欲しかったのですが、間に合いませんでした。次号には筑波山等の表題背景を考えています。写真提供等のご協力をお願いします。(山田秋彦)